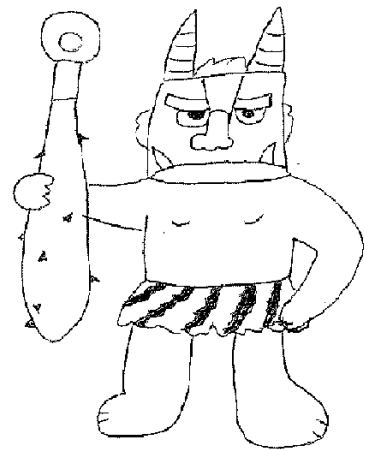
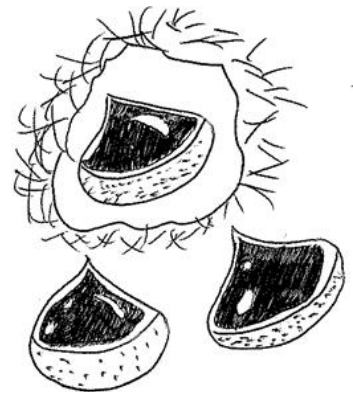
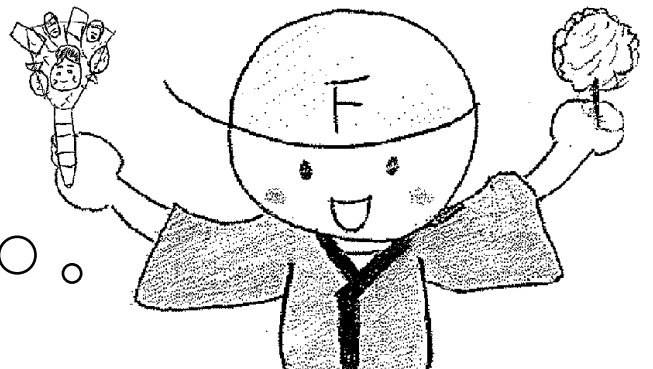




おおくにたまじんじゃ まつ
大國魂神社の祭り 2



こんかい なつ ぶゆ
今回は夏から冬の
まつ しょうかい
お祭りを紹介するよ



はっさくすもうさい 八朔相撲祭

はっさくすもうさい、まいとし、おこな、こ、しゅやく、すもうまつ
八朔相撲祭は、毎年8月1日に行われる子どもたちが主役の相撲祭りです。

はっさく、はちがつさくじつ、りやく、さくじつ、まいつき、ついたち、さ
八朔とは「八月朔日」の略で、朔日とは毎月の「一日」のことを指します。8

月1日はむかしからきちじつとされており、各地でお祭りが行われます。この日は夏

いそが、はたけしこと、だんらく、いね、はつほ、かみ、そな
の忙しい畑仕事もひと段落し、稲の初穂を神に供えて

ほうさく、いの、た、み、せつく、よ
豊作を祈ることから「田の実の節句」と呼ぶところもあり

ます。

はっさくすもう、てんしょう、とくがわ
八朔相撲は、天正18（1590）年8月1日に徳川

いえず、えとじょう、にゅうじょう、きねん、はじ
家康が江戸城に入城したことを記念して始められたと

されています。各地の神社やお寺で、世の中が穏やかに治

まることや、のうさくもつ、ゆた、みの、いの、ほうのうすもう
まることや、農作物が豊かに実ることを祈って奉納相撲*1

おこな、はくふ、すもう、ひとびと
が行われるようになりました。幕府は相撲をとる人々が

けんこう、からだ、あんぜん、せいかつ、ねが、みずひきまく*2
健康な身体で安全な生活をするを願って水引幕*2を

じんじゃ、てら、おさ
神社やお寺に納めました。

はっさくすもう、へいせいがんねん、よんひゃくねん、きねんたいかい、おこな、なが、れきし
府中の八朔相撲は平成元年に四百年の記念大会が行われたほどの長い歴史

えとじだい、はじ、めいじいこう、きゅうし、ちよう、ほんまち、ばんば、しんしゆく
があります。江戸時代に始まり、明治以降は旧4カ町（本町・番場・新宿・

*1

ほうのうすもう
奉納相撲とは？

じんじゃ、さいれい、けいだい
神社の祭礼などに、その境内

おこな、すもう
で行う相撲のことです。もと

もとは、ならじだい、へいあん
もとは、奈良時代から平安

じだい、たなばた、きゅうちゅう
時代にかけて七夕の宮中

ぎょうじ、まいとし、がつごろ、おこな
行事として毎年7月頃に行

われていた相撲節会が、神社

の祭事として相撲をとる

ふうしゅう
風習になっていったといわ

れています。のうさくもつ、ほうさく
れています。農作物の豊作・

きょうさく、うらな、ごこくほうじょう、いの
凶作を占い、五穀豊穰を祈

り、かみがみ、かご、かんしゃ
り、神々の加護に感謝するた

め、ぎれい、おこな
めの儀礼として行われます。

*2

みずひきまく
水引幕とは？

どひょう、よんほんばしら、うえ
土俵のまわりの四本柱の上

よこ、は、ほそなが、まく
に横に張る細長い幕のこと

げんざい、つやね、は
で、現在は吊り屋根に張って

あります。

はちまんちょう) により伝統行事として引き継がれて大相撲 *3

の力士や、近隣の草相撲 *4 の力士が参加してにぎわいま

した。現在では小学生の部を中心に、幼児の部・

中学生の部・一般の部に分かれて行われ、小学生によ

る町内会対

抗リーグ戦

も行われて

います。



*3

大相撲とは？

プロの力士による相撲で盛大な相撲の興行の事です。特に日本相撲協会によって行われる相撲です。

*4

草相撲とは？

祭礼などの時に、野外で行う素人の相撲の事です。

しゅうきさい まつり 秋季祭 (くり祭)

「秋季祭」は毎年9月27日と28日に行われます。

祭りの日には、拝殿で太々神楽 *5 が奉納されますが、これ

は元文2(1737)年9月28日に、神楽を奉納する組織

(大國魂神社太々講) ができたことから始まりました。し

ばらく中絶された時期もありましたが、その後ふたたび

行われるようになり、現在まで引き継がれています。ま

た、武蔵野台地はむかし、質の良い栗がとれたことから、

*5

太々御神楽とは？

「神楽」とは、神様にささげる歌や舞をいいます。江戸時代には、伊勢神宮や熱田神宮の神人とよばれるひとたちが各地を回って疫病や災難をよける神札を配ったり、魔除けの獅子舞などを行っていました。そして、「代理参拝」の意味から「代神楽」「太神楽」「太々神楽」とも呼ばれるようになりました。現在も獅子舞のほかにも傘回しなど、さまざまな曲芸が行われています。

江戸時代には徳川家に納めるようになりました。太々

御神楽と栗の収穫時期が重なったことから、栗を売る店

が参道脇に立ち並ぶようになり、いつの間にか「くり祭り」

と呼ばれるようになりました。さらに、大正14(192

5)年から献灯*6が参道の両側に奉納されてきました。

このことから「献灯祭」とも呼ばれています。

*6

献灯とは？

神社や寺に行燈絵などの

神仏に供えるろうそくなど

の灯りや灯籠(お供えする

灯りを風などから守り、消

さないようにするために木

や金属などの枠で囲ったも

のを奉納することをい

ます。大國魂神社の参道で

は「奉納献灯会」によって

行われます。



とり いち 酉の市

酉の市は、毎年11月の酉の日に行われる大鷲神社の祭りです。初酉を一の

酉、次を二の酉、3番目を三の酉と呼びます。「酉の日」は十二支の酉にあたる

日です。十二支は、むかしの暦の年・日・時刻・方角の表し方で、子・丑・寅・

卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥の十二の名前で数えます。酉の日は、そ

の10番目で12日ごとにめぐってきます。

おおとりじんじや ぶうんしゆご かみ ぶ し あいだ しんこう
大鷲神社はかつて、武運守護の神として武士の間で信仰されていましたが、

しだいにしょみん あいだ かいうんしやうぶく かみ しょうばいはんじやう かみ しんこう
しだいに庶民の間では開運招福の神・商売繁盛の神として信仰されるよう
になりました。

げんざい おおくにたまじんじやけいだい おおとりじんじや おおくにたまじんじや
現在、大國魂神社境内にある大鷲神社は大國魂神社

はいてん にしがわ おおとりじんじや ごほんしや おおさかさかい
拝殿の西側にあります。大鷲神社の御本社は大阪 堺の

おおとりじんじや ごぶんれい まつ とり いち
大鳥神社で、その御分霊を祀っています。府中の酉の市

ふちゆうしんしゆく まつ おおとりのおおかみ おおくにたまじんじや
は、府中新宿に祀られていた大鳥大神を、大國魂神社

けいだい うつ まつ おこな
境内に遷し祀り、行われるようになりました。

まつ とり よ しちふくじん おおばんこばん
祭りは「お酉さま」と呼ばれて、七福神や大判小判な

えんぎもの *7 が つ くまで う るてん さんどう
どの縁起物*7 が付いた熊手*8 を売る露店が参道の

りやうがわ なら くまで たから こ えんぎ
両側に並びます。熊手は「宝をかき込む」と縁起をか

しょうだん せいりつ いせい よ
ついだものです。また、商談が成立すると威勢の良い

さんほんじ こえ ふゆ とうらい つ ふうぶつし
三本締めの声でにぎわい、冬の到来を告げる風物詩と

とり いち えとじだい しょうにん みずしょうばい
なっています。酉の市は、江戸時代から商人や水商売

ひと にんき まつ のうぐ のうさくぶつ
の人たちに人気がある祭りでしたが、農具や農作物も

う だ ほうさくきがん おち こ のうみん さんばいしや
売り出され、豊作祈願の思いを込めて農民の参拝者に

にんき
も人気がありました。

*7

えんぎもの
縁起物とは？

じんじや てら れきし か
神社や寺の歴史を書いたものを

えんぎ まい ひと
「縁起」といい、お参りする人た

ちが しんぶつ か こ え
ちが神仏の加護を得るために

じんじや てら または その前の店で買
神社や寺、またはその前の店で買

もと もの えんぎもの
い求める物を「縁起物」といいま

す。きちじ とうらい こと
す。吉事の到来（よい事がおこる

こと）を祝い祈るための品物のこ
こと）を祝い祈るための品物のこ

とで、しょうがつ かどまつ まね
とで、正月の門松やだるま、招き

ねこ くまで えんぎもの
猫や熊手などが縁起物とされて

います。

*8

くまで
なぜ熊手なの？

あさくさ おおとりじんじや しゃてん
浅草の鷲神社の社伝によると、

やまとたけるのみこと いくさ か れいまい
日本武尊が戦に勝ったお礼参り

を おおとりじんじや おこな がつ
を鷲神社で行ったのが11月

とり ひ で、その際、社前の松に
の酉の日で、その際、社前の松に

ぶく くまで た
武具の熊手を立てかけたことか

おおとりさい おこな くまで えんぎもの
ら大酉祭を行い熊手を「縁起物」

とするようになったといわれて

います。

じっさい まつり はなまた げんざい とうきやうと
実際の祭は、花又（現在の東京都

あだちくはなはた おおとりだいみょうじん ちか
足立区花畑）の鷲大明神の近く

に住む農民による収穫祭がはじ
に住む農民による収穫祭がはじ

まりとされ、あき のうさくもつ のうぐ
まりとされ、秋の農作物や農具の

くまで くわ ばんばい のうぎやういち
熊手や鍬を販売する「農業市」が

えど はい ぶく まね
江戸に入ってきて、福を招くとさ

れる「おかめ」などの飾りをたく
れる「おかめ」などの飾りをたく

さん付けた飾り熊手を縁起物と
さん付けた飾り熊手を縁起物と

するようになったようです。

せつぶんさい 節分祭

せつぶん きせつ わ いみ こよみ りっしゅん りっか りっしゅう
節分とは季節を分けるという意味で、むかしの暦では、立春、立夏、立秋、

りっとう ぜんじつ
立冬の前日のことを、それぞれ節分と呼んでいました。今では、立春の前日に

あたる2月3日頃だけを節分と呼んでいます。これはむかしの暦で立春前後

が1年の始まりとされていて、その前日が特別な日と

されたからです。節分は、中国から伝わった「追儼*9」

(鬼やらい)という行事が起源だと考えられています

す。平安時代には宮中の貴族だけが行っていましたが、江戸時代には炒った大豆をまく豆まきが庶民にも

ひろ へいあんじだい きゅうちゅう きそく おこな
広まりました。豆まきは、年男*10、年女*10、厄年の

ひと いっか あるじ おこな
人、または一家の主が行います。この節分に使う豆を

「福豆」と呼んでいます。豆まきの後は、「年取り豆」

として自分の年の数、またはそれにひとつ足した数の

まめ た
豆を食べます。この豆を食べると、一年間健康でいら

ると言われています。

おおくにたまじんじゃ せつぶんさい けいだい ぶたい つく うえ
大國魂神社の節分祭は、境内に舞台を作りその上か

ら豆をまきます。午後に3回、有名な人が招かれ、盛大

*9

追儼とは？

へいあんじだい ころ ちゅうごく つた
平安時代の頃に中国から伝わった「悪鬼を追い払う」行事で、むかしの暦の12月大晦日に宮中で行われていました。

じだい すす
時代が進んでいくにつれて、あつき お はら やくめ やくにん お
悪鬼を追い払う役目の役人が追われる鬼の役へと変化していったといわれています。

*10

年男、年女とは？

とし え と あ だんじょ
その年の干支に当たる男女、または厄年(人の一生のうち、「厄」つまり災難にあうおそれが多いから注意しなければいけないとされる年齢)の男女のことです。数え年(生まれた年をいっさいとして、そのあと新年のたびに一歳を加えて数える年齢)で、男女それぞれに厄年があるとされています。

おとこ さい さい さい
男は25歳、42歳、61歳で、おんな さい さい さい
女は19歳、33歳、37歳です。

に豆まきが行われます。この舞台の上からの豆まきは、招待された人だけでな

く、申込み制で一般の人も参加することができます。地域で活躍するスポーツ

選手、子どもに人気のあるキャラクターなども豆まきに来

るため、子どもから大人までたくさんの方が、福をもらお

うと境内に集まります。

豆まきが終わると、夜には本殿で「追儺祭」と「直会*11」

が行われ、節分祭は終了となります。

*11

直会とは？

祭りの終わりに、神職や氏子などの参列者がお供え物の米や神酒などをいただくことにより、神さまとの結びつきを強くしてその加護を願う行事のことです。



もっと知りたくなったら読む本のリスト

しよめい ほん なまえ 書名（本の名前）	ちよしゃ ほん か ひと 著者（本を書いた人）	しゅっぱんねん 出版年	ほん せ 本の背ラベル
あるむぜお じだい ごうしだい びょうごう 自第1号至第25号		1987	F069/10/ア
おおくにたまじんじゃ さいじき 大國魂神社の歳時記	おおくにたまじんじゃ かんしゅう 大國魂神社／監修 さくらのぶお ぶん 桜井信夫／文	2002	F17/サ
ふちゅうしだん だい 29ごう 府中史談 第29号	ふちゅうしだんかい へんしゅう 府中市史談会／編集	2003	F213/10/7
グラフ 府中 だい 10ごう 第10号	ふちゅうしきかくちようせいぶごうほうか へんしゅう 府中市企画調整部広報課／編集	1975	F318.5/10/7
とり いち くまで 西の市と熊手	まつざわみつお ちよ 松沢光雄／著	1979	F385/76/ア
しゅんかきしゅうとう ぎょうじ た 春夏秋冬の行事と食べもの	たかいひろこ ちよ たかいひろこ／著	2015	38/タ
ねんちゅうぎょうじ ポプラディア じょうほうかん 年中行事 ポプラディア情報館	しんたにたかのり かんしゅう 新谷尚紀／監修	2009	38/ネ
はじめて知るみんなの ぎょうじ とくらし （学研の新まるごとシリーズ）		2008	38/ハ

大國魂神社ホームページ <https://www.ookunitamajinja.or.jp/>

バックナンバー：図書館ホームページ→子どものページ→府中について知る

「大國魂神社の祭り2」こども府中はかせ No.8

2018年8月発行

府中市立図書館 編集・発行

<http://library.city.fuchu.tokyo.jp/>

さがしているほんが
みつからないときは、
としょかん ひと
図書館の人にきいて
みよう。

